

2022年4月11日
JR東日本スタートアップ株式会社
メトロウェザー株式会社

JR 東日本スタートアップとメトロウェザーが資本業務提携 ～ ドップラー・ライダー活用による鉄道現場の生産性向上にむけて連携 ～

JR 東日本の子会社でベンチャーへの出資や協業を推進する CVC の JR 東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田裕、以下「JR 東日本スタートアップ」）と、小型・高性能ドップラー・ライダーシステムを擁するメトロウェザー株式会社（代表取締役：古本淳一、以下「メトロウェザー」）は、鉄道現場の生産性向上にむけて、資本業務提携することを合意しました。



◆小型ドップラー・ライダーの鉄道現場への導入による生産性向上を目指して

JR 東日本グループでは、グループ経営ビジョン「変革 2027」において JRE-BIM※・ICT 技術の導入による鉄道現場の生産性向上を目指しています。

従来の大型・固定式が主流であり風況観測等に用途が限られていたドップラー・ライダーの小型・可搬化と物体検知等の新たなユースケースへの応用により幅広い分野への参入可能性の広がりを見込めます。本年1月に実施した「JR 東日本スタートアッププログラム 2021」の実証実験では、毎夜の工事終了後に人力で行っている線路内支障物の確認作業の自動化・省力化の可能性についての検証を行い、休止中の鉄道線路において、メトロウェザーのドップラー・ライダーは数百m先にある数十cmの物体を検知することが確認でき、クリアすべき課題等の知見を得ることが出来ました。今後は自動運転等への導入や線路周辺の広範囲の風況計測の可能性もあり、空だけでなく鉄道（陸）でのドップラー・ライダーの利用をメトロウェザーと共に目指して参ります。

※JRE-BIM：JR 東日本における BIM/CIM の取組みの総称

◆メトロウェザー株式会社とは

メトロウェザーは、小型高性能ドップラー・ライダーにより空の風況を立体的に把握し、可視化することで「風」の課題を解決し、「エアモビリティ社会」と「安全安心な都市生活」の実現に貢献することを目指しています。ドローンの運行に必要不可欠となるリアルタイムでの高精細風況情報の提供や独自の気象予測シミュレーションを組み合わせることで、都市防災・風力発電・航空・海運・鉄道領域等、ドローン関連のみならず幅広い分野の市場への参入を進めています。

所在地	京都府宇治市大久保町西ノ端1-25 宇治ベンチャー企業育成工場6号
代表者	代表取締役 古本 淳一
設立	2015年5月
事業内容	ドップラー・ライダーの開発・販売、データ提供
企業HP	https://www.metroweather.jp

JR 東日本スタートアップ株式会社とは

JR 東日本スタートアップ株式会社は、JR 東日本グループとスタートアップ企業との共創を推進するコーポレートベンチャーキャピタルです。

所在地：東京都港区高輪2-21-42 TokyoYard Building 7F

代表者：代表取締役社長 柴田 裕

株主：東日本旅客鉄道株式会社（100%）

設立日：2018年2月20日

出資枠：50億円

連絡先：E-mail info@jrestartup.co.jp

ホームページ <https://jrestartup.co.jp>



あなたの夢を未来へつなぐ
『明日』創造ステーション